

死亡診断書を書く前にお読みください

死亡診断書は、我が国の死因統計の基礎となる重要な資料です。
因果関係のある傷病名を正確に記載することが極めて重要です。

(1) 因果関係のある傷病名は？

例：脳梗塞 → (ア) 内頸動脈塞栓症 (イ) 心房細動
うっ血性心不全 → (ア) うっ血性心不全 (イ) 連合弁膜症
嚥下性肺炎 → (ア) 嚥下性肺炎 (イ) 脳梗塞後遺症

(2) 病原体は？

例：肺炎 → サイトメガロウイルス肺炎 あるいは 細菌性肺炎
肝硬変 → C型肝硬変

(3) 腫瘍の良性・悪性、細胞型は？

例：脳腫瘍 → 側頭葉膠芽腫
：悪性リンパ腫 → びまん性大細胞型リンパ腫、成人T細胞性白血病

(4) 疾患の部位は正確に

例：大腸癌 → 直腸癌 あるいは 上行結腸癌
脳出血 → 被殻出血

(5) そのほか、病名はできるだけ詳しく

例：肺炎 → 嚥下性肺炎
肝硬変 → アルコール性肝硬変
慢性閉塞性肺疾患 → 肺泡中心性肺気腫
急性冠症候群 → 急性前壁貫通性心筋梗塞

死亡診断書を書く前にこの注意書きをご覧になったら、チェック「レ」を付けてください。

死亡日時（確認用）

担当者	チェック欄
死亡診断書記載医師	
診療情報管理士（確認用）	

月	日
午前	時 分
午後	

＜この用紙は、死亡診断書の控えとともに貴院の診療情報管理部門にお返しください＞

平成22年度厚生労働科学研究事業「死因統計の精度向上にかかる国際疾病分類に基づく

死亡診断書の記載適正化に関する研究」

（研究代表者 大井利夫・日本病院会顧問）2010年7月作成